



艶めく

晴れ

星

DOJIN
R18
成人向け

URAN-FACTORY

空とパイモンが稲妻へ旅立つ少し前



空とパイモンは食事しながら金リンコ諸島での冒険を刻晴に話した

いいわね
私もたまには

長い休みをとって
バカンスしてみたいわ

ねえ空…

そ、その時は私も
その島へ
連れて行ってくれない？

刻晴…

ごめんそれは
約束出来ない

えっ？





……

しゅん……

…そうなの



そう、とても危険な旅だからいつまた璃月に来れるかわからないんだ



おいら達稲妻に行くんだ

稲妻に!?



!



!!

ハソツツ
うまくやれよな
刻晴!



おいらちよっと食後の散歩に行ってくるよ!

散歩?



空のことだから止めても行くんでしょうね

次いつ会えるかわからない…か



実を言うとね、わたし
こうして璃月港でたまに
空に会えるのが
楽しみだったんだ

あなた璃月港では
けっこう
顔が知られてるから

あなたが来ると必ず
私の所まで
その知らせが
来るのよね

そういう日には
少し早めに
仕事を切り上げて

空と会えるかもって
思いながら
港をあちこち歩いて
みたりして…

も、もちろん
視察を兼ねて
だけどね！

私の本職は
土地管理と建設だから！

刻晴

えっ!?





何こっ!?

なっ



えっと…
俺の家…かな

ピンばあやに
そんな力が
あつたなんて
知らなかったわ

ゆっくり
休んだり眠ったり
できる場所が無いと

苦労する
だらうって



でもここに
人を連れてきたのは
これが初めてだよ

刻晴…

俺も…璃月港に行く度に
刻晴に会えたり
しないかなって
いつも思ってたんだ

……ッ

そ…
それって…



そんなにじっくり見られたら恥ずかしいわ…



あっ…

ぐいっ

あーん



だって綺麗なんだから刻晴のからだ…

あんっ

あーん



んあっ
やんっ

あーん
あーん

ハッ…だめっ
そんなところ…
やあっ…

刻晴すごい
もういっぱい
濡れてる…

あーん
あーん

あーん
あーん

あーん
あーん

はあ…
ねっとり吸い付いてきて
ナカあつついよ…

んあっ やつゆびっ
気持ちイ…ああんッ

柔らかくなってきた
ほらもう指
3本も挿入ってるよ？

どんだん汁も
溢れてきてる

部屋にえっちな音
いっぱい響いてるね

やーっだめえッ!!
イッ…らめえッ!!

いいよ
先に軽く
イッちやつ
ても

まだっやつ
んああ!!

我慢
しないで
いいから

はあああん!!





ほら 俺のも
もうこんな
バキバキ

ホッ

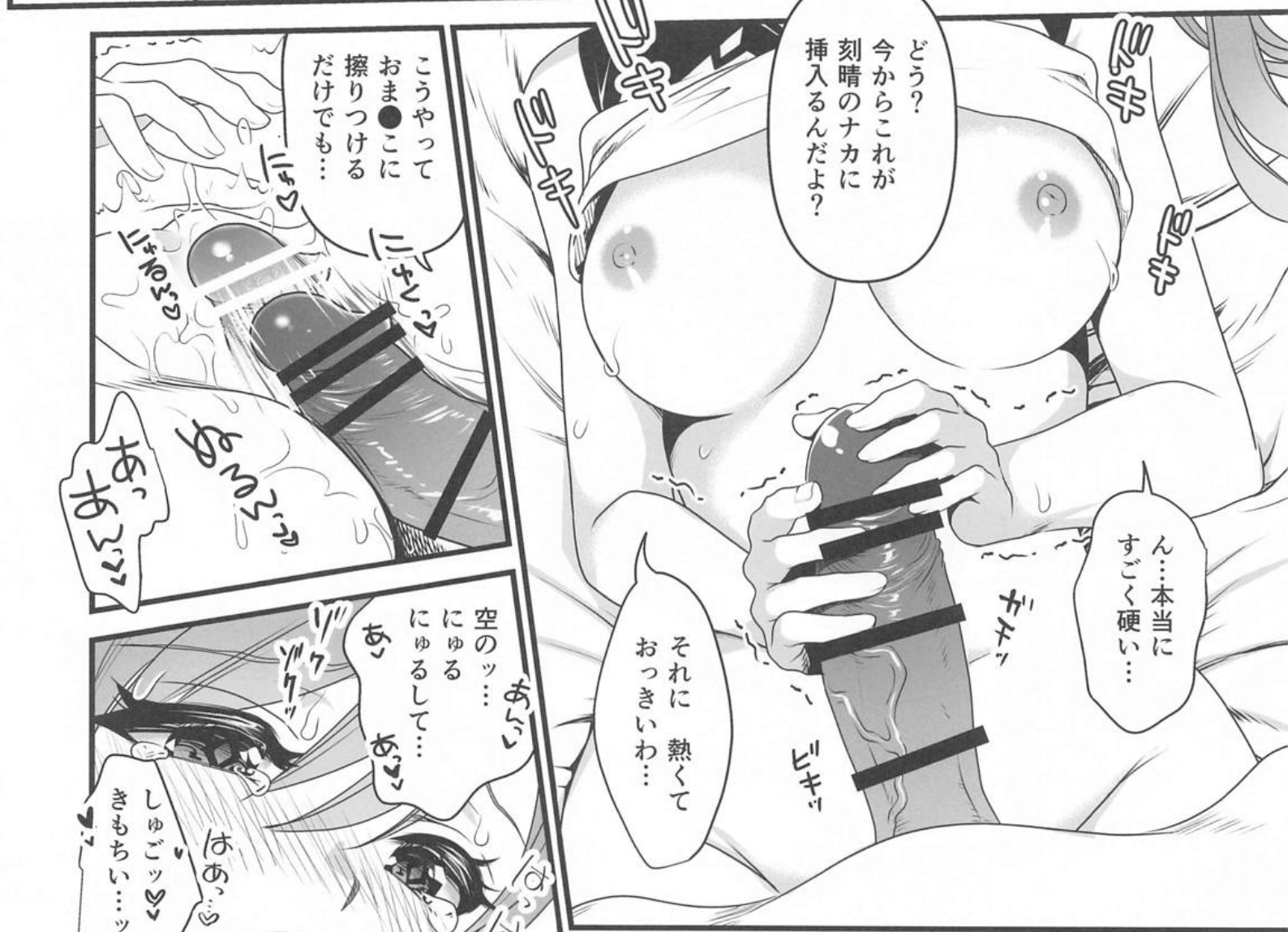
あっ...

びびッ

びびッ

びびッ

触ってみて



どう?
今からこれが
刻晴のナカに
挿入るんだよ?

ん...本当に
すごく硬い...

それに 熱くて
おっきいわ...

こうやって
おま●こに
擦りつける
だけでも...

びびッ

あッ

あッ

空のッ...
にゆる
にゆるして...

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

どうする？
挿入れるの
怖かったら
このままでも…

えっ!?

ふぁ…

これ、
どうしたい
のか

それとも
このチンチン
刻晴のおま●こに
欲しい？

んあっ

刻晴の口から
言って
ほしいな…

ほ…
欲しいッ
空の…

おチンチン…
ここに
挿入れてえ…!!

んあっ

さへし...

ぬ...

ぬ...

ぬ...

ぬ...

ぬ...

ゆっくり...
来てる...ッ!

!?



すごい...
奥まで空のが
全部...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...



あ~~~~っ♡
気持ちいいよ刻晴

チンチン
止まんない!!

ん...うんっ
わたひもっ♡

きもちいい
これ好き♡♡♡

うっ ごめん
もっ俺ツイきそ...

刻晴の膣内で
イかせてッ!

クッ...!
イクッ!!

んえっ!?

おなかに...暖かいの...

注がれてる...

あ、

ん...♡





空のおちんちん

奥までズンズン
来てるううッ

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん



おちんちん

ぜんぶ
気持ちイイよ

先っぽから
根元まで

ぐにゅぐにゅの
プニユプニユで

刻晴の
おま●このなか



うん
いいのッ♡
♡♡♡

もっと
いっぱいして♡♡♡
♡♡♡

はあッごめん
全然加減が
出来ないっ…

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン





そ…外でッ
こんなコト
するなんて…

野外調度品
花鳥の噴水

いいんだよ
ここは
俺たちだけの
空間だから

水浴びをする
はずだったのに…



誰にも見られないし
何しても
怒られないからね





ほっほっほ

ほっほっほ

ほっほっほ

ほっほっほ

…まあ
いいか

気持ちいいし…

ぽっぽっ

ぽっぽっ

ぽっぽっ

刻晴
上に乗ってみて

うん…

ほっほっほ



いびきッ

あーッ

あーッ

やーッ

ん？

あーッ

あーッ

駄目!!
そんな力任せに

下から
突き上げられたら……!

あーッ

あーッ

も…
なにも…

かんがえ…

らんな…



ごめんまさか
失神させちゃう
なんて...

それで
これ...



洞天通行証

これがあれば
いつでもここに
来れる…

簡単に言うと
ここの合鍵かな

合鍵…

これで君を
招待するよ
刻晴



通い妻!?

OK!



あああつ
ありがたく
いただいて
おくわっ!

アッ

今更
照れてる…

終



発行 URAN-FACTORY

発行日 2021年10月10日

連絡先 doujin@uran-factory.sakura.ne.jp

印刷

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

Twitter



※この作品はフィクションであり、実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません

▶禁止事項◀

無断転載・複写・転用・WEB上へのアップロード ネットオークション及びフリマアプリへの出品
No reproduction or republication without written permission

URAN
FACTORY

